幫 民 胸 币



天皇降下帯道校の奉迎場 大宮御所に御入になり

写厂



發 行例 京都府宇治市宇治妙樂一六〇ノ 治市役所 電話 学治 四四〇番 編輯兼發行人 京都符字治市役所総署 印刷所 新

世 帶 数 女 男 昭 和二五・一〇・一現在 九、八九二人 九〇八世帶 三三九人

きの上、 のみぎり、 月十二日京都市內巡幸 辻利一府茶業協会長の 休憩所にお入りになり 後三時三十分莵道校に 内で宇治茶展示会場を 糸業界狀况説明をお聞 . 覽になりました。 崎市長が御供して午 天皇陛下には、 第三校舍階上、 同会長の御案 知事、

橋上を除行されて陛下 車で御出発、 えられて同五十分自動 案内で校庭の字治、 色を賞でられ、 は車中から宇治川の秋 上にお立ちになり、 式場に臨まれ、 長発声の萬歲三唱に應 人同和園を御視察の上 綴喜二市郡民歡迎 特に字治 歡迎台 財團法 市 久 のり

十

終つて山崎市長の御 れました。 つて大体予定の 「和」の力によ との字治市民の を発足しました 町村長及び議會 顧みれば、

丸となつてよ

もつ/て各町村民総大なる努力を 合併行政をよく のもとに多難な の理解ある後段

つたことは、否み得ない実情である般的にその実感が低調氣味であるととて市制の実態これに伴わず、ととて市制の実態されに伴わず、 であります。 宇治市制の大使命を遂行されたの

て、

ました。

廳 のであります 努力している のであります 知徹底し、も いて、正しいでのたび、

協力を切望する次第であります。 市政だよりし 今後とも市民各位の一層 市政九ヶ月の足 を発行することに 心跡を顧

字治市の誕生から今日 九 ケ 月 0 足 跡

か

顧

されてきた私等の思ひ出深い旧字を和二十六年三月一日まで施行

第一位宇治川塔の島より打上げら東宇治町の五ケ町村は、觀光百選治町、槇島村、小倉村、大久保村 れた一発の花火によつて、 祝福されながら字治市制の第 前途を 步

に一歩一歩と市政の圓 財政、事業、諸施設等 りまし 處が、 市議會成立するや行 諸施設等の內容充

5 に專念せられ、只今では、宇治市
が 額で、十四課二局、四出張所の職
制のもとに市
長以下百八十
一名吏員の陣 週滑なる運営等の内容充実

3

創

市政なより、の謎

間によせられました市 月になりますが、この

から、早やくも九ケ

ます。

「市民のための市政」市長以下吏員一同は 市民のための市役所」

支援を深く感謝いたし 民皆々様の絶大なるご

を市政に反映させる資料となると 料であると共に反面、要望、批判

えずお知らせすること 資料を正確、迅速に絕 これが基礎となるべき 資料なしには正確な判 の目標、当面の問題等 に行政の実体や、政策 と、ご納得を得るため ると確信いたします、民主政治の要件で 皆様方の眞のご理解

字治市が誕 生 しまし りました。

宇治市 Ш 長 崎 平 火

たが、 ロ」を開設いたしまし 分に果すため本日ここ いて総合的な計画をた 情をよくきく方法につ と建設的なご意見や苦 生れません。 K に「市民の声を聞く窓 てて、さきに市役所内 た政に対する世論も 「宇治市政だより」 両面の機能を充 廣報活動 職責の遂行に邁進し、もつて皆様 方のご期待に副うことを誓います

宇 治市

佐

久 役

間

淳

を発刊いたすことにな 廣 報

治 市 發刊に際して

民主政治は世論の政治でなけれ

は皆様方の市政に対する判断の資 ばなりません。「宇治市政だより

とを念願いたします。 知つていることであると思いまった。からのように営まれているかをよくった民主政治とは、われわれ なくては実現することができま ります。

あげて努力をいたして

を、目標として全力を

おります。

たのでありまして、これでは眞新聞記事以外には何もなかつが市政の営みを知るためには、 す。しかしながら、今日まで市民

ると思います。

の民主政治は行われないのであ 明るい政治は、市民の協力が 市政事務の進捗致して計画致しつつ、日々に 参りますことは、 K 市政の報告書であり、また市民は誠に喜ばしいことで、これは

行されることになりましたこと

今回

「宇治市政だより」

が発

市また少からず。しかるに、我が字の恨みと悔とをかこちつつある都市が相当あり、合併 発展に一大支障を生じをなすがため、將來の 争合

本一の

宇治川を中

併に依り種々なる抗性ふに、旧町村の 第であります。 衷心感激に堪へない 結果でありますことを 惟ふに、

望を持つておりますことは、即ち協力一致して市の將來に多大の希治市はかかる弊害は毫もなく市民

るご理解あるご援助 市民各位の市政に対 0

今後一層のど協力とど支援をお願市民各位、何卒本市発展のため 簡單ながら「宇治市政だより」 和の力とそは実に限りなきもので、此の市民の和の力によるもので、此の

が市政のとぞっつっなをみたし幸福と利益を守ることによってもはいる。

が市政のただ一つの目的であるこ

いいたします。

とを信じ、私達は益々研鑚を重ね

します。

創刊にあたりご挨拶の言葉といた 快の至りであります。 るものでありますことは、誠に飲ありまして本市の前途光明跡々た かして、不肖私等としても一

で付金の割当に対して極端なる減いの財源として行かねばならんのでありますが、一面政府の平衡で付まるますが、一面政府の平衡で付いるが、一面政府の平衡で付いるが、一面政府の平衡で付いるが、一面政府の平衡で付いる。 とは致し方なきも、これを極度に増税の止むなきに立ち至りますと評價を再檢討致しますことに於て 衡を採らねばならんのであります於ては支出の面に於ても、これ均して税收入のみに依存する場合に れん狀勢でありますために、主と額を加えらるる破目に至るやも知 建設的卓見を承りつつ市政向上に解深さ市会議員各位より種々なる 当り色々と考えさせらるることも どが無経験であります故、ことに 市としても諸施設に対しては殆ん 致しますにつけても金であります 善處致しておりますが、何ごとを 多いのであります。 分にも発足日尚浅きのみならず、 の幸福を念願致しております。 寸でも能き市を作り眞に市民 最近制度改正により固定資産の 幸に市政 に理

市民この連絡の役目 市廣報發行を祝 う

思います。これに もつているものと との連絡の役目を

よつて市民の市政

の全般をくわしく知ることが必せん。そのためには市民が市政 会字 議治 長市 小 山 元 솟 郞

> 認識を深くし、 えの関心を高め、

相

ととは、

増徴して市運営の資源と致します

者として採るべき策でないと存じ

自然市政の発展も

市民の負担の点より理

政えの理解を深めることがで 要であるし、そうすることで市 **発展し市民へのよき廣報機関と** 思います。願くば將來益々充実共に市の発展に貢献するものと の言葉といナします。

を市民各位に訴えたいと存じます こととご了声

度は全く試験り 止むを得ざる儀で ずしも理想の如く進 復旧と新設小学校建築費、市営住ます。七月二十日大雨に依る災害

五十二萬圆の増額となるのであり

十一萬圓と比較すると、一千七百 五ヶ町村の予算額一億三千二百六

を追加予算として十月二十四日市

宅建築費等、三十二百三十八萬圓

萬圓の大きな予算となりました。 初予算と合せて一億八千二百五十 会に提出して議决を得たので、当

Гij

且つ、

これを公表しな

圓

であります。

度予算の編成を急ぎ、七月十七日見、茲に市長施策の線に副う本年四月二十日市長、議会の成立を

議会に提出其の議决を得たのであ

6 更正豫算

本

第

O)

あ

5

であつて其の予算総額は一般会計 算の編成に当り、市長及び議会の 五、六月の三ケ月分を編成したの 成立なきため、暫定予算として四 致しました。市となつて当初の予 本市は、 合併して、 今 ・年三月一日五ケ町 新しく市として発足

水道事業特別會計一千百六十四萬に於ては、三千五百六十九萬圓、 萬圓で、合計五千萬圓となつたの 市営住宅特別会計二百七十五 園、徽稅費五百萬園、料益済費は一千萬圓、保健衛生費四 萬圓、 なり、生活保護費として一千四百三百萬圓、社會教育費五百萬圓と 改築工事費六百萬圓、 學校建築費一千萬圓、 費百八十萬圓、 梁補修費八百七十萬圓、災 入三百五十萬圓となつています。 養百萬圓、土木費では、一会增築費二百萬圓、消 徵稅費五百萬圓、 (は一千萬圓、觀光費五百萬保健衞生費四百萬圓、產業 保育所新設工事費二百八十 日萬圓、維持修繕費千萬圓、宇治中学校、教育費では新設小 特別会計繰 道路、

であります。 算総額に対する市民一人当り四

の他一般経常費四千五百九十萬圓

宅十五戶建築費四百八十萬圓、其

豫

設拡充費等一千五百萬圓、市営住上水道事業費に於ては、水道敷 (害復旧 大なる協力を要望するものでありいのでありますが、市民各位の経確保に努力を致さなければならな については出來得る限りの冗費ののであつて、この豫算を執行する 其の他收入八百二十四萬圓、百七十萬圓、市債三千五十萬 込み、地方財政平衝交付金として税に於ては一億百九十七萬圓を見于七百圓となり、この財源は、市 ものを重点的に行ひ、本市の発展節約を励行し、緊急止むを得ざる を挙げ、 ある市税の徴税成績の向上に全力 であります。それには重要財源で と財政の建全を期したいと思うの 本市の財政は決して建全ではな 千萬圓、国及び府の補助金二千 財政平衝交付金と起債の 市債三千五十萬圓、

查 制 度 E WAR

-り ・ 地 ナ 選任された委員は、 の同意を得て選任されました。 撃職経験者より小山英二氏議員より 岩井益三氏 本市にも監査委員二名が市会 方自治法の定めるところによ

ります。之れを昭和二十五年度旧千拾缘萬圓の巨額となつたのであ

計参百七萬圓となり、総額一億五

百五十四萬圓、水道

事業特別 市営住宅会 億三千一

般会計に

於ては、一

千五百五十二萬圓、

又監査委員は、監査の結果を市長務の執行を監査するのであります であります。監査委員の任務と 及び議会並びに関係のある委員會 る事業の管理及び出納其の他の事(都道附縣及び市町村)の経営に係

本市に於ても本年三月一日合併ければならないのであります。 合併旧町村の出納、其の他事務及により新たに発足しましたので、 α 市となつてからの出納、 の出納、其の他事務及

0

發疹

チ

フ

ス

予 防 つ V て

発疹チフスの像防実施期間であり十一月一日から翌年三月末まで ネ

治橋擬寶 珠 現に つい 会の議决を得て、擬堀井庄次郎氏は町議旧字治町当時、町長 年 (千三百余年前) 大化二 ること甚だしいので 宇治の名勝を阻害す

宝珠を再現すること

來るのであります。 て明朗なる市政の運営と発達が出を受けるのであつて、これによつ との様にして市の全般に渉り監査 が正当に使用されているかどうか みなさんから納めて頂いた税金 務の監査を受けたのであります

ます。

お願いします。 ていますから、 宇治市に於ても次の通り 皆さんのご協力を

十一月二十六日から十二(一) ネズミの駆除 ズミを一匹五圏で買上げます 十日まで、 五側で買上げますか 月二

5 迄持参して下さ 勢々多くさん取つて市衞 生

に銘文を彫むこと の古文化を偲ぶと共とせられ、創建当時

2対し感謝と敬意を表します。 この紙上をもつて、関係者各位

(二) シラミの駆除 特に重点を置き、 行して下さい。 右の期間中シラミの駆除 次の事項を励うミの駆除には

入浴を度々すること 衣服の洗濯、 **腰具の日光消毒をするこ** 更 衣

イ

力をお願いします。 除を実施してゆきますからご協市衞生班では、各地区毎に昆虫

都 吉撰士

京大都阪 業研究所に委託さ 会託されている。

日

あります 完成

本最古 の橋で

橋は日

固定資產 評 價

動 0) 金 11 か V)

月月 標準を、従来国の税務機関が定める を賃貸價格から脱却して、市町村 合、自らの責止において、固定資産税がその課税 て のました。固定資産税がその課税 て です。 價格を決定せねばならないものと自らの責止において、固定資産の 强国 方稅 これると共に、反応地方との財政機関の方税法が改正せられ 理由も此處にあるの の自主性の制を て

とろであります。昭和二十六年度に対しては相当議論の多かつたと法定の課税標準によつたが、これ 固 は、 は、賃貸價格の九百倍という家屋に対する固定資産税につ す。昭和二十五年度における、市町村税の大宗をなしてお宝を養産税は大幅に増額されま

して、 いて 土地 りま

V

額

異

議

0

到

3

は

委

鑑みましても、固定資産の評價にになつていますが、かかる経緯には一應との仮信料に は、公正妥当でなければならない税標準である價格の决定について院に限界点にあると言はれる現段既に限界点にあると言はれる現段 あると考えられます。 一應との仮價格により徴收し、つであります。昭和二十六年度 て課段し

定 資 古 産 評 價 委

明を致しませう。 員とはどんなことをどんな機関で、審査 なつて居ります 委員が この審査委員会とは 長が選任することに 議会の承認を得て市 定資產評 九人、 近く市で 審査 K ń 說

査を経

十月二 まで、 價出

金を賦課することに

のある人の申

なります。

審查 を審

員であります。そしてこの審査委員会で、審査をする人が審査する機関が、固定資産評

する基である**價格は** 固定資産税を賦課 台か審 帳文、 一査决定する」と言つております

あるが、何分にも平買う … のとれた適正な價格を得ることに 昆足資産の評價の要諦は、均衡

化衡

は地 家番

台坪

帳数

近など土地

Di.

るとと

ż

勸

致

L

ます

K

登

手しておりますが、何分にも復雜 う 入れ、全市域一齊に実地調査に着 る資料を蒐集し、府縣等の比較割 で、本市におきましてもあらゆ 完全なる調査が出來ないこと市民各位の協力なくしては、 密 困 を計画が必要であるのであつ。 「難な大事業であればある程、 ればならない な計画が必要であるので KC かも ٤ 2 ・短期間に仕 傳 期 的 仕上 ソます で、 つ げ 事

田來ないことと存 なくしては、到底 議のある方は、 ましたら、

心置なく

申出て下さい

又調査に当つてお

氣付の点があり ことになつております。 委員会に申出 修繕費は借家人の負担か等々借家で逸作家具等は自己負担何年頃建てたか は縦覽期間 て審査を受けら 13

は別 調査終了後、決定に対しまして に告示 は、固定資産標價審査が設けられまして、異 致 します。 縦覽期間 対られる あり

ご援助を賜ります様 第であります。 認識下さいまして、 で 卒との お願い が願い致す次体いご理解と 意 味をよく

小

倉

出

張

所

IJ

覽板につ

えば にありのままをお告げ下さ 査に当りまして、 調査 員 の質

担か

上られません 意 次へと早く回覽するようお 力して下さることをお願いします して、 及び賃貸價格に 対する **不服**

様な事柄について審査しても、宅地の價格で決定します)と、現実に宅地に利用している場 ことになります。 間違つている(現况課税になつて いますから、合帳地目が畑で と思あれる場合、 閲覽 れで今回 二十日までとなつて居ります、審査の請求は十月一日から 宅地に利用している場合は N |評價 叉は現况 た價格 査してもら が不当 調 いう 査 が à

で、閲覽並びに審査請求の期間もで、閲覽並びに審査請求の期間もで、閱覽並びに審査請求の期間もで、閱覽並びに審査請求の期間もの。 当市評價方針と致しましては、 愼市 論で あつ 定致す豫定であることは勿 合は、 萬一不当な決定 本審査制度をご りまではいるという。

いて だ कं ょ 4

かれ勝ちなので、至急回覧が來ても かれあらいとが往々ありますため通かれることが往々ありますため通いと迷惑をかけることがありますため通いといるので、至急回覧が來ても 期 至急回魔が間に合う様協丁く回魔するようお互に注 に入ると猫 0 手 B

は 取 【市 稅 徵收狀 况】

昭和26年10月31日現在

完了 急市税務課にお申出の上、 ある様に見受けられますの まだ附替を済して居られない方 (6) 鑑札の附替を実施致しました 自 般全 和 轉 一市一齊に、 Ø 車 付 荷荷 替につい 車 自轉車及び で、 附 て

材

至が が 荷

稅 目 調定額 收入步合 (百分比) 47.8 44.5 43.2 牧 入 額 額 33 059 13 429 15 589 69 219 28 892 1, 普 通 36,150 民資 市 15,463 稅稅稅 固 定 產 36,067 20.478 自荷電 轉 車 82 0 77 1 687 563 124 車 371 286 85 ガ引告 氣材 ス取 稅稅稅 3.193 100.0 3.193 0 木廣接滯 1 1 0 100.0 8 8 0 100.0人繰 稅 2. 越 15,853 12,576 20.6 85.072 仓 36.346 48.726

用し、日夜油断

なく消防の常備

態

北田一日十

勢を整えているのであります。

備えあればうれいなし」 さてそこで、火事を起したら何

かの損害は免れることは出來ませ

んそれで何と云つても、火事を起

月より常勤の消防專務員三名を採ますので、宇治市に於ても去る八

消防組織法第六條に規定されて いて護らなければならないことが

S

在の消防はその市町村の責任におそこで皆様もご承知の如く、現

く

はしてはならないのであります。とと等を考え合す時、決して油断

决して油断

社

●●●●●● ●火 の● ●用 心●

、事は文化のバロ 完 メ 1

べ 3 の 消

防

ととであるかを伺ひ知ることがで皆様が火の用心にいかに注意深ひ程度で済んだことは、誠に市民の 程度で済んだことは、誠に市民のその損害九七六、五〇〇圓と云う く僅か五月と十月に宇治市で二件発足以來、火事らしい火事とてな るのであります。幸にして宇治市の発生度数の増す心配が豫想され 村を合併して愈々発展の字治市も本年三月に近 季節向きの火災もまたそ ケ町

火災都市となすよう、消防圏長初の協力をいただいて当宇治市を無かくして、ご理解ある市民各位 防陣容を参考までにお知らせして最後に字治市に於ける現在の消 れる運びとなつています。 を、皆様の幸福を護るため制定さ 分に果すようこれ等の制限や規則 に於いても近くこの火災豫防を充設けられていますが、この宇治市 防に対する色 おきます。 いても切望しているのであります 一々な制 や規則等

つて、 、十月一日から宇治市福祉事會福祉事業法の定める所によ 第一六四號)身体障害主法(昭和二二年法律 保護法(昭和二五年法一、との事務所は生活

リ新発足 社会福祉事業が公明且せる法律第二八三號)その法律と相まつて、 を確保し、 つ適正に行われること 者福祉法 (昭和二四年 兼ねて市長

車ポット ★

消

防

機

槭

뽊

具

小 型同上

リ手

ンびポき

ンカプソ

東発同上

水蒸

ァ プ 氣

ボ腕

プ用

計

六

三九

つ 1

お子さんのため必ず注射を受けて区別に実施しております。可愛い 各 地 一子供の血液(之れが得られなけれ ているように、子供にとつてはい律でも定期に行うことに定められ承知の通り、百日零隊防接種は法 やつているが、実に社會道德的に屋外で遊ばせたり、學校幼稚園へよく病氣が治らないのに平氣で やな病氣ですハシカの治りきわの よくないと痛感させられます。 を侵すのです。 よく病氣が治らな مح

もすれば少々咳は軽くなりますがは殊に夜間に多いのです。二週間にハキ氣すらまじえるセキの発作 又兄弟姉妹は勿論のこと、 要であるが、肺炎等の余病を起さ 引き、ハシカも百日咳も医療が必経過は百日咳の名の通り非常に長 でもよい)を採つて注射する方法 は絶対戸外えは出さないことで、 ぬためには、完全に治り切るまで 氣が去り、時には激しい咳のため が出て、その苦しさで額から血の ようにゴホンゴホンと連続した咳 から始まり、 百日咳は軽度の熱と全身のだるみ 区別することが困難であります。 すこの他、氣管支カタルなど起る 表われ、次第に全身に拡がるので 急に高熱と引続き額に赤い発疹が がよいとされています、ハシカは (法定傳染病)とよく似ているので 疹(ハシカより軽い)、ショウ紅熱 が発病から四週間で治ります。 あたかも犬の遠吠の 他家の 風

速かに明るい社会の建設に貢献して處を得ない人のない様にし、 なお力添えを賜り、市民が一人と 本事業の趣旨を諒され皆様の强力はないかと思はれる者もあります もらわぬと損だと考 へているので

今百日咳の豫防接種を、

られ、空氣傳染により次々と子供供の傳染病で春先から多く見受け咳は、共に小學校入學前の幼い子 て簡單に申上ます。ハシカと百日カと百日咳の豫防及び手当につい 下さい。 と」に子供のか かり易 S ハシ

祉協議会の協力を得て事業が遂行会事業関係者をもうらする社会福する社会福祉審議会と、市内の社 されます。 ります。 の保護費 四

この法が発効してから、

從來

一割の市負担

が一割とな

初代の所 します。 生課全員が事 長は民生課長が兼任 務所員を兼

表することは出來ないが、

事業の性質

正確に

い世帯が対象となつているが、

加の傾向があります。

(五)

防の心構えが必要であります。

に於いては火災豫

との

事務所は厚生大臣の監督

事務を公正迅速に運営の委任する旧民生課の

既にハシカをやつた大人の血液

ŧ

★

字

治

市

消

防

團

覽

表

長 副團

長

分團

長

副

分團

長

部

長

班

長

專

随

四 四五四

覽 表 9 四四四 四六 00

子供も病見に近寄せないように親 充分な注意が望ましいのです。

たいものであります。

協力を待つ

商工及び觀光的都市の性格を持つ

宇治市が発足致

しまして以來、

産業振興に関する事業

●府外轉出の場合は、

今 度 生 礼 る

٤ は な ح

に依つて設立され、産業 内商工業者の自発的創意 のは、地域 の様に事業者が相寄り相商工会議所は、その名 の興隆と社會公共の福祉 て、業界の希望と意見、集つて議を練る處であつ て居るのであります。 方経済機関として発達し て、戰後最も民主的な地会議所法の制定と相待つ 法人でありまして、 と繁榮を目的 よして、商工的とする社圏

ります。 のために総力が動かされる處であ知能と経験が実を結んで之が実現 市民各位のご

初旬発會を期して居るのでありまの通りの事業計画のもとに十二月 すが、 まして会員の募集を致して居りまとれがため、創立発起人に依り す。 業計画、收支豫算其の他諸規定等代表に辻利一氏を推し、定款、事 の発起人参集して発起人會を開 各面に亘り協議立案され、左記 會員には商工業者は勿論、

期待して止みません。商工會議所たらしめる様で協力を の福祉増進のためより一層有効な申上ると共に、一般皆様にも市民振つてご参加下さいます様お願い なくとも入会して戴けるのであり 趣旨にご賛同の方々には事業者で 商工課又は発起人にご連絡賜りま 入會に就いての詳細は、 市役所 島、小倉、大久保地区は各その出きは市役所商工課へ(東宇治、槇轉出、轉入、出生、死亡の手続 張所へ) 左記による手続をして下 きは市役所商工課へ(東宇治、 轉出、轉入、出生、死亡の手

酒已

伸長を推進する任務を持つものでに各種の資料を集め、調査を行ひて正しい與論の形成と産業政策のて正しい與論の形成と産業政策ので、諸般の事業を企画実践し、討議に す様お願い申上げます。 文字治商工會議所 事 国

一府内轉出の場合は

けてある米穀配給台帳を借り受け

Œ

モチ米三日分特配します。いずれ

旬配給で差引きます。但し、先渡米五日分は

し、先渡米五日分は、

月用先渡米は、内地米五日分、一五%、変製品三七%

特定業種-內地米四八%、外米一般用-內地米四五%、麥製品四○%

業家及び有志者慎重協議を重ねまた月間に耳り種々資料を蒐集し企がの設立が画され、去る五月には所の設立が画され、去る五月には 2中小企業に関する相談に應ずる 1 ح ک すること 商店街振興施設の研究協力に関 に家庭用砂糖購入通帳を手続きと府外轉出の場合と同様ですが、外

| 一族、照会 | 一族、照会 | 一府産業能率研究所との連絡 | 一府産業能率研究所との連絡 | 一方の連絡 | 一方の 販賣に関する斡 京都 下さい。

月

六日百

余名

二金融、税務に関する事業 生産品の展示及即 永年勤続優良從業員の表 で賣会の

2金融、税務に関する説明會、

2 觀光客の誘致運動及び誘致のたる 三觀光に関する事業 開催 開催

市街美化運動及び一めの諸行事の実施 般公衆衛生

3

給

續 3 0

仕 方

研究會の開催 開催 2その他各種文化選 1物價、資金、生計費等の調査 五資料、統計に関する事業 2その他各種文化運動への協力 1講演会、 四社会、文化に関する事の向上運動

文化講座等の

開催、

産業経済に関する講

演会、

懇談

納稅貯蓄組合の斡旋) 融資、税務対策の実施

3税務関係諸官公衛との連絡会の談会の開催

鋫 立びに資料の蒐集
立びに資料の蒐集 3その他産業経済の実態に関する

月引ま、xミーニ・ 世帯用の主要食糧購入通帳の有効 世帯用の主要食糧購入通帳の有効

つているが、右有効期限が十一

月

三十一日迄延長となりました。

期間は、

本年十月三十一日迄とな

六その他 資料の蒐集

宇治商工會議所発起人会

№ り米の配給が差し引かれますから 一きが遅れましても、死亡の翌日よ 一 と の で の で の で と の で で の で と の で で い の 場合 と の で で い が き い が き い が き し の 場合 は 、 母子手帳並びに米穀配給所に備付その世帶の米殼配給通帳、印鑑、配生の場合は、 注意して下さい。

~

般用-- 内地米四五%、労務加配は

轉出の手続きに來て下さい。 備付の米穀配給台帳を借り受け、 米穀配給通帳、印鑑並びに業者に 下さい。轉出証明手数料一通に付乳兒用砂糖購入通帳をも返還して 購入通帳を受けている方は、その共に返還すること、尙乳兒用砂糖 時、又は轉入手続きが遅れている年令の異動により配給量が増したの果上げ配給については、 砂糖の配給についても同様ですれば早く手続きに來て下さい。 世帯においては世帯員に異勤があ 月しか繰上が出來ませんから、 はすべて申出があつた日より一ケ 場合といえども、米の繰上げ配給 て手続きに來て下さい。 糖の配給についても同様です。 反対に年令異 動で減つた場 各 も十二月下旬に配給の豫定です。

3各関係官廳との連絡保持 2 その他定款第五條に規定の事業1 信用保証協会支部設置運動 商 工 課

月 主 食 配 定

給

中旬一內地米三日、外地 一旬一内地米五日クーー般家庭用は 句一內地米二日、 一旬一內地 クーポ クーポン五日 ン五日 外地 米 ン五 日日

(0) 勞務 p 配米 証 BA

帳を必ず持參して下さ の証明を受ける方は、 工場 事業場に提出する労務加配 一通に付 米殼配 Ŋ 十圓 給通

斡 が。 はますから殊に注意をして下さ が。

主

要

食

糧

購入通

帳

効期限延

長につ

て 0

して

知ら

樹

種

本当り(三年生)

百育

質曲

用

|本当 四

年生) 程度

圓

益 本

ぬめ

松ぎ木ぎ

赤 < C

A

五十歲

程度

+

五

圓

程

度

重

四

圓

五圓程度

第1号

綠化運 2 ح

VØ V) 0 ゕ゙ む Ш

も有

わぎも濫伐が招いた悲しき現象で 川及び市内各河川に於ける增水さ 襲つて來ます。去る七月十一日南 より、 水害も、今は忘れるいとまもなく 余も伐採している現 69、毎年実にその成長量の二倍、戦後の莫大な復興資材の需要に、た日本も、戦時中の濫伐に引続 昔は忘れられた頃にやつて來た 狀であります 切望します。

あろうと痛感いたします。

まるでせう。とは、我が市にもそのままあては美しい裝飾物」であるといつたと おい。 す。 さい。之については、市から育苗成したものを植林する様にして下一年生の苗を仕入れて一、二年育

います。 長い間故郷を離れてしばらくぶ

込下さい。 と思つていますから、種を播くか ることも積極的に考えて頂きたい 育苗間を経営して苗木作りをす

つて、はじめて天下の美觀を保つ字治も山と川とが混然一体とな 7 上流の變りはてた山々を見て驚いりに歸つて來た人は、宇治橋より

美しい裝飾物」であるといつたと 4 愛化に富んだ地形に対して、あっているのではないでせうか。

当り、 市も合併と同時に緑化運動する 一委員会を設置し着々

四日 て我国再健に協力せられんことを 等の効果を挙げる様、全市民挙つ するつて森林資源の培養、水源の
高生の保全と美化、保健衞生
ない、
は、
は
は
ない、
は
ない、
は
ない、
は
ない、
ない、
ないで、
ない、
ない、 | 念すると共に、山林は勿論、市内| 像しい樹木を植えて永くこれを記し、人物の締結を機に、平和日本に相談を遠成に務めついありますが、講和 **(条約の締結を機り)** तीं

業協同組合に支金庫として取扱組合、東宇治、槇島、小倉各農徴收納付事務のみを、宇治信用 である。 より午後三時(土曜日は正午)迄を除き、市役所の執務開始時刻ている。その時間は特別の場合 を出 はしめることにしたのである。 に三和銀行字治支店より取扱員市金庫は、市役所の本館一階 張せしめて金庫事務をとつ

間中である。 庫は、勿論、 市金庫の出納事 rは、勿論、その機関の営業時 三和銀行字治支店及び各支金 務

ま

掌ることになつているが、 保管の事務に関して 市の取扱う現 は収入役がの出納及び 実際

牧印を押して領牧證を納付者持参すれば、目の前で規定の 添えて市金庫又は、各支金庫 (その他とれに準ずるもの) に配布された徴 稅令書

置

察署或は徴稅吏員が徴收する場合により市の各出張所や、市警書も同樣である。又納付者の都 渡される。 その他の ば、目の前で規定の領 納 額通 知書、 賦 課 令

納付者の希望により、仮領收証り本領收証を受取る。この場合置き、翌日金庫に拂込み金庫よ合は、仮領收証を納付者に渡し

求明細書を添付し)で関係課に 者(債主)は所定の請求及び領 者(債主)は所定の請求及び領 では市費を以て購入する物品の では市費を以て購入する物品の では市費を以て購入する物品の 振込みその徴税令書を別送すれ九八二三番もあるから、それへの市金庫には、振替口座京都 長は收入役(会計課)に支佛任されそれを市長に国付し、 提出すると、その訴において ば、入金と同時に領收書を返送 令をするのである。 と引替ること ができる。 Th 確

市税の納付につ V ては のりを金市 書と照合し現金を支拂うのであた。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のである。一大学のであり、一大学のであり、一大学のであり、一大学のであり、一大学のであり、一大学のであり、一大学のである。

る。 書を收入役 (会計課) に提出し債主はその事実を立証する申立 を集計して收入と同様会計課へ こうして支金庫は一日の支出て再交付を受けることが出來る

若し、

切符を亡失した場合は

である。 れ且つ、

命令書を整理し歳出簿に記帳さないては、証憑書類即ち、支出

出納簿に記帳されるの

報告する。

これに基き会計課 証憑書類即ち、支

雑なる現金取扱により生する不か様にして金庫制度は手数がか て経理の正確を期するのである文市の監査委員はこれに立合つ して行けるのである。正確なる判断を下して 測の間違をなくし、 の財政狀況が の関係帳簿及び書類を檢査し、收入役は例月或は臨時に金庫市金庫の監督」 直ちに現わ 且 2 理に常 日 K

權 摊 護委 自 1: 7 Table Street

同 宇治市宇治妙樂一〇八番地 宇治市の人權擁護委員として、 槇島町 町北内一九番地入江宗太郎及び

井

季 太 郞 国民の基本的人権が企主れることでは法務総裁より委論主がた。委員での所氏が十一月、自付をもつて ないように監視

九 が ٤ がで きる。

(八) 第1号

♦初市議会 四月十九日、 二十

◆緊急臨時市議会 ◆緊急臨時市議会 本 二十六日、 十一日、二十三日、二十四日 三月、 二十八日 二十七日、二十八 七月十七日、二 六月一日、二日 七月十四日

定例市議会 定例市議会 一十五日 市長專决處分報告承認に監査結果報告について **八月二十四日** 9

^

、小学校建設敷地買牧について例を廃止する條例について・宇治市就学獎励基金蓄積條

宇治市福祉事務所條例制定起債をなすについて、二件 について

本

年

產

米

0

供出

第一回蒙入蔵出追加更正豫 、本年度特別會計上水道事業 蔵出追加更正豫算について では、本年度一般会計第一回談入 第一回歳入り 国有財產拂下申請 0 いて

一回歲入歲出追加更正豫算本年度特別會計市営住宅第 こついて

について 東字治町歳入歳出決算認定 島村、小倉村、大久保村、 昭和二十五年度字治町、 和二十五年度宇治町営 槇 住 の旱ばつ、九月上、中旬の寒の慢延、メイ虫の大発生、出

一、行事についての土木関 十一月二日 决算認定にづい づれも可決する τ

昭

和

-

六

年

度

B

赤

募

金

成

續

表

櫻バツジ額

街

道

m募

金

一、九九九四葵 校 募

合

七 金

Ħ.

O

→ 文教委員会 十一月五日 ・ 大事についての学校修理に ・ 大事についての学校修理に ・ 大事についての学校修理に した

一、行幸関係豫算につい委員長協議会・十一月 月 八日 て五田

> 中心に審議した て詳細なる報告を聴取した天皇陛下宇治市行幸につい 行幸関係豫算につい 行幸関係経費の内容を τ

、市長から平衡交付金についた交渉の経過報告があつたに交渉の経過報告があつた、議長から電力配給に関する 取中字とたに 中央における狀况報告を聽字治川綜合開発についてのての陳惰の経過報告並びに

麦の句 日赤慕金報

赤十字の使 命

禀

金

赤十字は皆さんのための皆さん

満腔の謝意を表します。

募集成績を得ましたことに

対して

して、目標額を突破するうれしいあたたかいと同情と理解によりま

動に当字治市としては、

皆々様の

との赤十字の使命を果す募金活

命であります。

し幸福にすることが、

赤十字の

使

東大小槇字 字久 治保倉島治 ¥0,100 七、九〇〇

募集目標額 七八、三 九、五〇〇 一〇、大六〇〇〇

大一、五二〇二〇 一七、六三〇〇〇 七、七七四 四五五 一、二三一九

二、三四六四、二二、八二二 九、一九一八〇九〇 七五二 Ò

五三 <u> 29 29</u>

五. 五.

四〇 Ħ.

政策」だと、ドツジ顧問から指適りますが「世界の大勢に逆行するいか時の意向では來年十一月に米の政府の意向では來年十一月に米の政府の意向では來年十一月に米のの供出をしなければなりません。 ッ であります。 「一番ります。 「一番ります。」 であります。 であります。 であります。 であります。 であります。 であります。 であります。 して感謝の意味を表したいと思ひと致しましても、供米の完遂に対 と致しましても、供米の完遂に が講じられるでせうが、当宇治市 国や府でも供来に対する報獎制

○ 関い致します。 三九七石、字治市民は三八、○ 三九七石、字治市民は三八、○ 三九七石、字治市民は三八、○ 対機調整の行届いた一等米を! 目標として喰べる身にも供出する身にもなつて、お互字治市民の相互扶助の実現にご盡力をおります。

皆さん、

害等

年後の情勢は即断出來ません。されたことを考えて見ると、一ケ

ます。

不作でお互に供出はご苦労のと

退が相当に多い

然しながら、

他府縣では配給辞

様にも聞いて居り

作は誠に本年の稲

よくも之れ程各種の災害、病虫ウンカの全面的発生、出穗遅延

の統制撤廃問題も種々論議の結果を捧げるものであります。さて米努力に対しましては深甚なる感謝 たたかつて來た農家の皆さんのごきれるほどでありますが、之れとが一度にやつて來たものだと、あ やつと存続となり、

决定致 都府 二四九、五〇〇石 一、五五〇萬石 しまして大体作年 程度

供出割半量も

責務でもあると存じます。そして ために農民として果すべき最大の とと存じて居りますが日本再建の

完遂して來た農民の名誉にかけて供出制度を実施以來、毎年供出を

8

割当量の完遂

関係各位

出制度を実施以來、

をつないでおります。

赤十字で、

世界六十九ケ

国

手

世界を平和にすること、

な人を助けお互のくらしを明るく

2第回 市鳳 友 K 貫録示して 優 勝

クラ 堂

方事務所、宇治局、電報電話局所、茶業研究所、宇治警察署、 季大会は、 宇治市官公廳野球連盟主催 汝 研究所、宇治警察署、地、食糧事務所、土木工営官公廳野球連盟主催の秋 京屋運動具店寄贈の優楽勝し毎日新聞寄贈の



郡篠村水害義損金の募集狀况

おくればせながら、

南桑田

宇治市民の愛の

手

を左に報告します。

寫眞 優 勝 楯 授 庚

の用紙は、 戶 籍課に

件につき

金

+

圓

名前につ

戸籍の記載事項證明

枚につき 戶

籍の謄本又は

金抄

十

圓

本 \equiv

村に対して、救済運動が各地 名の人命を奪つた災害の地篠 われ無惨にも一瞬にして百余

(0) 相續未屆 方にお知らせ 0

なければなりませんので、まだ其いる方の戸籍は、家督相続届をし 一十二年五月二日以前に死亡して 父(戸籍の筆頭者戸主)が、昭和

一、戶籍、

除籍簿の

金閱

=

+

圓

回につき

さい。 あります。 0 籍課へ印鑑を持つて届出して下届出のしておらない方は市役所 家督相続届

改戶 正籍 に手 つ數 い料 70

一回につき

金二十

五圓

回につき 寄留手数

+

五圓

改正しました。 二十六年十一月 -六年十一月一日から左の通り、籍及び寄留の手数料が、昭和

枚につき

金二十

五圓

寄留の謄本又は抄本

(出生兒

お知らせします。
を支えないことになりましたから、共五日からは次の文字を使つても、対象を表したが、昭和二十六年五月二十五日のよりませんが、昭和二十六年五月二十五日のよりは、日本のでは、日本のでは、日本の 用漢字表の内から選ばなければな出生見の名前をつけるには、当

> 朋 彌 圭

橘

欣 晋 已

淳 杉 彦 奈

玢

瑞 欽

甚 毅 惕 弘 嘉

睦 浩

磨

惣

聰 輔

> 肇 磯 熊 桂 悌

> 胤 祐 爾 桐 敦

艶 祿 猪 楠 昌 倘

蔦 醎

閼

穰

使つてもよい 名 用 漢 字

> 虎 綾

蝶

辰

酉 鶴

錦

鎌 藤 稔 琢

金二十

五圓

也 耳 亥 亦 享 亀 須

龍 馨

駒

鯛 郁

鹿

麿

齌 靖

ૠ

丞

乃

之

亮 仙 伊 匡 卯 只 巖 吾 呂 庄 欱

宏

寅

晃

智

ひとえに市民各位の同情ある 寄せられましたことは、これ れるご協力の賜と厚くお禮申 く一大義金運動を開始しま 市においてもその惨狀目し難 した處、 に展開されましたが、 豫期以上の慰問金を 当 字治

市

民

0

犛

を

聞

<

P

す。

大 小 槇 久 保 倉 島 区域別 宇 t

去る七月十一日豪雨に見舞

(募金係)

五二八五〇 七五二五〇 九七二〇〇

八四〇〇〇 九五〇〇〇 九〇〇〇〇

義損金は左の通りでありま

★災

害 の

篠

村

あり、 解決に最善の努力をつくして 强いご意見を頂き、係は其の など意見をお待ちしています お願いします。係では建設的 着々其の実をあげております 窓口は市役所新館の入口に

市 開 民 0 つ V 7

設いたしました。 に「市民の声をきく窓口」を開 と苦情なりと意見をきくため 八月一日より市民の皆様の

開設以來の受付件数は九三 に百パーセントのご利用を 市政全般に互つて実に心 宮木囑託が担当してお 明るい市政実現のた

倸

食糧供出、

林

水害豫防組

合、

市 営住宅

> 消防係 市

松

書

課

食官)

- 階

農政課

黒エ布

民生課 社会机

係の

中治相談定所 窓市口民

總

努

課

(新

二階

土木課

茶業課

徐子生課

教育課

交 电 校 站 事 木 啓 会

× ×

×

×

子

階

、 淀川 の デ

、木津川、新設改修並

、宇治

長

室

助役室

(IB

温

稅

赘

誤

습

階

籍

課

一 出入ロ

会

計

課

市 金店

商業

市

計

◇秘書課●の管理、当直等の発送、市印その他の印保管、後式、人事、文書物品の收受及の秘書課 せしておきますから、此の案内所例として各課の仕事範囲をお知ら様には市役所へとられる時に大變様には市役所へとられる時に大變 を十分にご利用 傭人関係等物品等の出納保管、 商工 会計課 **総務課** 市民の皆々は 宝くじ。統計、團体警察、消防、廣報、 産営造物の管理及び處分、庶務、議案、市豫算、市有 追放令関係、支拂命令等元正規陸海軍將校調査、公職、 主要食糧及び物資配給、商工課備人関係等 があります。 各 事 務 課 Ø ます。どう云う仕事は上で非常に密接なつな々様と市役所とは、日 の あ 、圏体等規正令、選挙で、関係等規正令、選挙でより、選挙のである。 して下さ 取 6 市金庫、 扱 文 用度関 ò 係現 ◆ 市市 觀 水 水 會 專 水 光 道 陽 孫 係 陽 湯 係 湯 ◆水道課、建築、河川水害豫防

THEORE? 案内所 勢の

動戶戶稅稅茶茶野能籍籍金務の業関 産及び販賣関係 收 **農業委員会、** 滯納處分 漁業等

身人 分口

· 力火葬認可、印鑑、 寄留、外国人登錄、

442番

市 長

助 役 室

秘 書 課

総 務 課

稅 務 課

会 計 課

市

農 政 課

商 工 課

民 生 課

土 木 課

茶 業 課

衞 生 課

敎

戶 籍 課

宿 直 室

使

育

市民の窓口

市会事務局

~丁

を

火出

事しと

ŧ

か

け下さ

庫 金

課

堂

器 話

課執 名移時 お間 知中 らは せ代 下表

さ番 東大小槇觀 い號四 宇久倉島 治保出出光 出出張張 (火災の の時

七 四 九四二九四 番番番番番

t

所所所所課 時は一

電 號 廳內電話 設置場所 休日及午後5時15分 局 宇治 以後の接続 名 室 代表 宿直室

> 440番 農政、商工、土木 民生、衞生、茶業 441番 教育、市会、市民 の窓口

稅務課 会計課

市長室 助役室 総務課

443番 秘書課

政組織や財政 いことが多々あることだろうと推なので市民各位のご期待に沿わなになりました。未熟練な者の編輯 察されます。 になりました。未熟練な者の編輯だよりの」機関紙を発行すること が、実態だつたと思考されます。 まで手がとどかなかつたと云うの 充実に折角努力中で、
 様方に対し 延引致しましたことを、市民の がして今日 編 お蔭様で、 (に折角努力中で、 廣報発行と 一 微や財政と云つた市政の内容 一 分末経験を市制運営の爲、行 後記 集 衷心より どうやら「宇治市政

する理解と協力を戴くための斉によい機関紙を以て皆様の市政に 命を果したいと念願しております 月報を提供することによつて、 後一層勉强と皆様方の御指導に編輯者としても、不備の点は りまして、内容の充実した、より ン続込保存して。何かと皆様の市 尚本誌は毎月一回発行しますか 甚の至りに存じます。 に対する参考思料として して発刊のご挨拶と致します。 市民各位の絕大なるご援助を懇 厚意を深謝致します 。眞楊載に当り茶業課高 、資に使料対 政 は今

正

PF

をを、、市民の事 ・ でして今日 ・ でして今日 ・ でしての機熟さ ・ でしての機熟さ ・ でしての機熟さ ・ でしての機割さ ・ でしての機割さ お詫び申